

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所とことこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 22日		～ 令和7年4月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 22日		～ 令和7年4月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 22日		～ 令和7年 4月 25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12名	(回答数) 4園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園への理解を得て、事前アセスメントシートを記入していただき、対象児のニーズや課題を明らかにし、それについて職員間で事前会議を行ってから訪問、観察しています。	お願いしている園の状況も理解した上で、アセスメントシートの記入をお願いし、それをもとに観察を行うことで、対象児のあらわれを明らかにし、共通理解に繋がっています。	アセスメントシートが園の負担にならない形で継続して活用できるように改善、見直しをしていきます。
2	園と保護者との関係を大切にしており、密な連絡(観察、話し合い、報告)等、ありのままの姿を伝え合い、訪問事業が園と保護者の橋渡しになり、子ども理解を深めていくことを大切にしています。	訪問時に園長先生や担任と話し合いの場を設けて頂くこと、または電話等で訪問時のあらわれを確認することを大切にしており、その様子をすぐに保護者に共有するようにしています。	今後も対話を大切にし、お忙しい中、ご協力いただく園の先生方の負担のない形で、共にこどもの成長を見守っていきたいと考えています。
3	児童発達支援を利用されている方がほとんどであるため、児童発達支援の担当者とも園の様子を共有し、それとともに園に児童発達支援での姿をお伝えすることで、今起きている課題に対して様々な角度から考えて	児童発達支援の担当者を含めて、会議を行い、その子の姿をともに考えています。	関わる職員が皆で考えて行けるよう、その都度話し合いを行っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
--	---	-------------------	----------------------

1	今現在、対象となるお子さんは児童発達支援に通うお子さんを対象としています。	職員配置や研修を重ねている段階であり、他からの要望に応えられていない現状があります。	今後もより一層の研修を重ね、様々なニーズに応えられるよう体制を整えていきます。
2			
3			